

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	放課後子ども教室運営事業			
予算科目	10 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	734
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	武田 秀雄
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	伊予小学校4、5、6年生			
根拠法令等				
事業の目的	伊予小学校生徒4、5、6年生希望者による、集団活動、各種体験活動による、健全育成を図る。			
事業の内容	伊予小学校生徒4、5、6年生希望者による、集団活動、各種体験活動による育成。小学4、5、6年生を週2回放課後午後5時30分まで預かり、宿題及び各種体験活動を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	毎年違った内容事業によるスケジュールの確立。			
改善策の 具体的 取り組み	地元での特技所有者講師の雇用を増やす。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	1,141	1,144	570	1,092
	人件費	799	813	406	813
	合計	0	1,957	976	1,905
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	406	813
財源内訳	国庫支出金	290	265	130	275
	県支出金	290	265	130	275
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,360	1,427	716	1,355

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
参加子ども数	延人数	1020	1050	530	1054

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		1,200	1,100	1,100	1,100	

成果指標				
成果指標	参加子ども延人数。			
指標設定の考え方	参加子ども数により人気バロメーターになる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	1000	1050	1050	1050
実 績	1020	1054	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	放課後、家庭の共稼ぎによる放任を防ぐため、子供たちを集め共同生活を過ごすことは非行防止、友達の絆を築くためこの事業は非常に良いことである。今後も継続の必要があると思う。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	子ども教室で様々なプログラムを異学年で共同して取り組む活動は、仲間同士の結びつきが弱くなっている現在において有用である。コーディネータや指導員の献身的な活動によるところが大きい。活動を推進していくためには、地元で様々な特技をもっている方の発掘や協力が大切である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	伊予小学校区だけでなく、他の校区での事業展開を検討すること。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。